

～絵本読み聞かせボランティア来所～

令和7年1月16日(木)

絵本講師の板谷先生が、ふれあいタイムの中で大型絵本を読んでくださいました。他にも絵本の紹介や、ワンポイントアドバイスをしていただきました。



～絵本講師～
板谷 仁美先生

『もりのおふろ』
作：西村 敏雄



言葉の繰り返しが好き
く、また、動物たちの表情
が愛らしくて温かい気持
ちになります♪

『きみとぼく』
作：谷口 智則



それぞれ違いはあ
ても、同じところも
あってほっこり♡

『きみがうまれたひ』
作・絵：なるかわ しんご



ひとりひとりの心にそ
と手を差し伸べてくれる
ような一冊です。

★板谷先生のワンポイントアドバイス★ ～絵本を読むときに気をつけたいこと～ 『絵本は下読みをする、こと』

絵本は下読みをしておけば余裕ができて、楽しく読み聞かせができます。上手に読む為ということではなく、読み手側の絵本に対する理解を深める為です。

構成を知ること、その絵本の意味、テンポが見えてきます。

絵本の隅々まで完全に知っておく必要はありません。新しい発見や解釈は、読み聞かせの中で子どもと一緒にしていけばいいのです。心に余裕を持つためにも、下読みをしておくことが大切です。

